

豊橋市行財政改革プラン

平成24年度 公開ヒアリング資料

番 号	1-3
対象項目	市民や事業者との連携によるシティプロモーションの推進
担当課	企画部 シティプロモーション推進室
会 場	第1会場（東81会議室）

豊 橋 市

【取組の位置づけ】

基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	③ 地域資源の発掘と積極的なシティプロモーション活動の推進
取組項目	市民、事業者、行政が一体となった「オール豊橋」の体制づくり
効果目標等	官民一体の推進組織の設置と活動の推進

【取組の概要】

取組の目的	効果的なシティプロモーション活動を行うため、市民、事業者、行政が一体となった「オール豊橋」の体制づくりを行う。			
状況 (プラン策定時)	「ええじゃないか豊橋」を合言葉に、統一感のある効果的なシティプロモーション事業を推進するため、「ええじゃないか豊橋推進計画」を策定し、具体的な事業を示した。この計画では、地域内向けプロモーション「アイラブとよはし運動の展開」、地域外プロモーション「とよはしイメージアップ大作戦の展開」、計画推進に向けた「広報戦略」と「推進体制等」を柱としている。			
平成 23 年度	取組内容 (H23年度計画)	目標	民間からシティプロモーション活動に関する相談を受け、事業が実施に至った件数を20回とする。	
		手法	シティプロモーション活動に関する情報収集を積極的に行うとともに、官民での効果的な事業実施に向けた情報提供や事業提案を行なう。	
	活動実績 (どのような活動を行い、結果どうなったか)	活動	平成23年4月にシティプロモーション推進室を新設し、民間等が実施するシティプロモーション活動の効果的な事業実施に関する相談を受けつける窓口業務を行った。	
		結果	市民が行なうシティプロモーション活動に関する相談の総合窓口として数多くの相談に対応することができ、様々な事業を実施することができた(21回実施)。	
事業実績 (成果を表す指標、実績の推移)	指標1	民間からシティプロモーション活動に関する相談を受け、事業が実施に至った件数		指標2
		H23	21回	
	実績		実績	
予算・決算額	23 予算額	—	23 決算額	—
内部評価 (達成度評価)	A	[理由] 目標以上の事業を実施することができたため		
	(評価基準) A：計画を越える達成 B：計画達成 C：完了 D：未達成 E：中止・保留			
平成 24 年度	今後の展開 (H24年度に何を 行い、どのよう な状態にしたい のか)	シティプロモーション活動に関する行政や民間の情報をより多く収集するように努める。平成23年度に設置した官民一体組織「ええじゃないか豊橋推進会議」を活用し、事業実施に向けての効果的なアドバイスをもらう。		

※予算・決算額の状態については、必要に応じて記入すること。

対象項目：市民や事業者との連携によるシティプロモーションの推進（その2）

番 号：1-3

所 管 課：企画部 シティプロモーション推進室

説明シート

【取組の位置づけ】

基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	③ 地域資源の発掘と積極的なシティプロモーション活動の推進
取組項目	民間と連携した取組強化を図る仕組みづくり
効果目標等	ブランド認定や助成制度など各種制度の創設と活動の推進

【取組の概要】

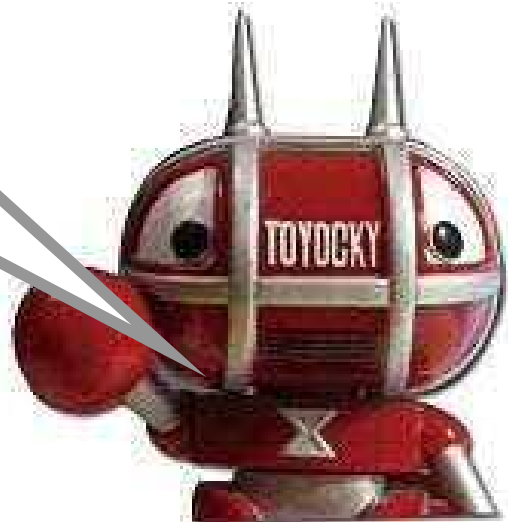
取組の目的	オール豊橋でシティプロモーションを推進するため、民間と連携した取組強化を図る仕組みづくりを行う。			
状 況 (プラン策定時)	「ええじゃないか豊橋」を合言葉に、統一感のある効果的なシティプロモーション事業を推進するため、「ええじゃないか豊橋推進計画」を策定し、具体的な事業を示した。 この計画では、地域内向けプロモーション「アイラブとよはし運動の展開」、地域外プロモーション「とよはしイメージアップ大作戦の展開」、計画推進に向けた「広報戦略」と「推進体制等」を柱としている。			
平成 23 年度	取組内容 (H23年度計画)	目 標	シティプロモーション事業補助金の5件採択	
		手 法	民間等を行う効果的なシティプロモーション事業に対する助成制度を新設し、幅広い層に対して周知	
	活動実績 (どのような活動を行い、結果どうなったか)	活 動	広報とよはしや、紹介チラシ、HP等を活用し周知	
		結 果	11事業の申請があり、5事業に補助した。民間事業者が行うシティプロモーション活動をより活発にすることができた。	
事業実績 (成果を表す指標、実績の推移)	指標 1	シティプロモーション事業補助金の採択件数	指標 2	
	実 績	H23 5件	実 績	H23
予算・決算額	23 予算額	1,000,000 円	23 決算額	939,000 円
内部評価 (達成度評価)	B	[理由] 5 団体 5 事業に補助金を交付できたため		
(評価基準) A：計画を越える達成 B：計画達成 C：完了 D：未達成 E：中止・保留				
平成 24 年度	今後の展開 (H24年度に何を 行い、どのよう な状態にしたい のか)	次年度も補助金を活用した民間事業者の新たなプロモーション活動を活発化させるとともに、新たに認定事業制度を創設し、広報・啓発等により、民間が行なうプロモーション活動を支援する。※チラシ添付		

※予算・決算額の状況については、必要に応じて記入すること。(シティプロモーション事業補助金を記入)

みなさんが行うシティプロモーション事業を全力で応援します！

豊橋市シティプロモーション事業補助金・認定事業を募集！

**今年からシティプロ
モーション認定事業
が始まったトヨ！**



豊橋市では、平成22年をシティプロモーション元年として、豊橋市が持つ魅力を市内外に発信しています。

昨年に引き続き、皆さんのシティプロモーション活動を応援するため「豊橋市シティプロモーション事業補助金」を実施します。

また、今年度から「豊橋市シティプロモーション認定事業」を創設し、資金面以外でも広報活動により、皆さんのシティプロモーション活動を応援します！

皆さんからのたくさんの応募をお待ちしております！

※シティプロモーションとは、豊橋を知ってもらい、評価してもらい、選択してもらうために行う一連の活動です。



手筒花火



のんほいパーク



路面電車



豊橋食文化

シティプロモーションの核となる4つのコンテンツ

豊橋市シティプロモーション事業補助金・豊橋市シティプロモーション認定事業募集の概要

補助金・認定事業共通事項

【対象となる団体】

所在地を問わず法人格のある団体、任意団体（複数団体で共同で行う場合も可）

例：企業、業界団体、NPO 法人、市民グループ、大学、専門学校など（個人は不可）

【対象となる事業】

対象となるのは、豊橋市のシティプロモーション事業に寄与する事業で、豊橋をたくさんの人に知ってもらうために行うものや、豊橋市内の人に豊橋のことをもっと好きになってもらうために行うもので以下の2つの条件を満たす事業です。

- (1) 平成24年8月1日以降に実施する事業で、平成25年3月31日までに事業を完了し、指定された書類を提出できる事業
- (2) 新たに実施する事業又は既存の事業を拡大して実施する事業（補助金の対象は新規事業と既存事業の拡大部分のみ）。

※次にあげる事業は対象事業となりません（申請中の事業も含みます。）（1）豊橋市から財政的な支援を受けている事業（2）豊橋市から財政的支援を受けている団体が行う事業（3）(2)の団体から財政的支援を受けている団体が行う事業（4）豊橋市又は(2)(3)の団体との共同事業（5）公序良俗に反する事業

【申請方法】

6月15日（金）までに必要書類を作成して、市役所東館6階シティプロモーション推進室まで持込み又は郵送してください（必着）。

補助金・認定事業の交付要綱及び提出書類は豊橋市のホームページからダウンロードして下さい。

<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/eejanaika1484/index.html>

【決定方法】

申請書の内容を審査し効果的な事業と認められるものについて補助金の交付・事業の認定を行いません。審査結果の通知は8月上旬を予定しております。

シティプロモーション事業補助金について

【対象となる経費】

- (1) 補助の対象となる経費は事業実施に直接かかる経費です。ただし、次の経費については補助の対象とはなりません。

団体の運営に関する経常的な経費、事務所等を維持するための経費、団体の構成員に対する人件費や謝礼、飲食費、その他市長が補助にふさわしくないと認める経費等。

【補助金額】

- (1) 私企業が行なう事業は、補助対象経費の2分の1以内かつ20万円以下
 - (2) 特定非営利法人及び任意団体が行なう事業は、補助対象経費の3分の2以内かつ20万円以下
- ※今年度より希望者はプレゼンテーションが行なえます

シティプロモーション認定事業について

認定された事業については次の支援が受けられます。

- (1) 広報とよはし、市ホームページにて認定事業の掲載を行なうなどの広報支援
- (2) 「ええじゃないか豊橋」ロゴマークの使用許可
- (3) シティプロモーショングッズ（法被、旗など）の貸し出しなど

※認定事業については、今回の締め切り以後も随時受け付けます

【問い合わせ・応募先】

豊橋市企画部シティプロモーション推進室
住所 〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地
TEL 0532-51-2179 FAX 0532-56-5711
e-mail citypromotion@city.toyohashi.lg.jp

ロゴマーク



【取組の位置づけ】

基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	③ 地域資源の発掘と積極的なシティプロモーション活動の推進
取組項目	「アイラブとよはし運動」の推進による市民への情報発信と市民の愛着意識の醸成
効果目標等	市民の愛着意識の向上

【取組の概要】

取組の目的	市民が豊橋の魅力を確認し、「豊橋を好きになる」ために、市民への情報発信、愛着の醸成に取り組む。				
状況 (プラン策定時)	「ええじゃないか豊橋」を合言葉に、統一感のある効果的なシティプロモーション事業を推進するため、「ええじゃないか豊橋推進計画」を策定し、具体的な事業を示した。 この計画では、地域内向けプロモーション「アイラブとよはし運動の展開」、地域外プロモーション「とよはしイメージアップ大作戦の展開」、計画推進に向けた「広報戦略」と「推進体制等」を柱としている。				
平成 23 年度	取組内容 (H23年度計画)	目標	ふるさと再発見ツアーの10回実施		
		手法	ふるさと再発見ツアーの開催を広報し、参加を促すことで豊橋の魅力について再発見してもらう。		
	活動実績 (どのような活動を行い、結果どうなったか)	活動	広報とよはし等で周知を行い、参加者を募集し実施。		
		結果	10回の実施により、延192人が参加。申込者数も324人で定員を超える申し込みがあり、市民に関心があることが分かった。		
事業実績 (成果を表す指標、実績の推移)	指標1	ふるさと再発見ツアーの実施回数	指標2	本市への市民の愛着度 (H23市民意識調査)	
	実績	H23	10回	H23	約79% (20歳代では約72%)
予算・決算額	23 予算額	—	23 決算額	—	
内部評価 (達成度評価)	B	[理由] 目標とする開催回数を達成できたため			
	(評価基準) A：計画を越える達成 B：計画達成 C：完了 D：未達成 E：中止・保留				
平成 24 年度	今後の展開 (H24年度に何を 行い、どのよう な状態にしたい のか)	市民意識調査の愛着度を指標として、次年度以降の取り組みを進める。 従来の取り組みに加えて、「ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE」を活用した若者層に対しての豊橋市の魅力発信に力を入れていく。			

※予算・決算額の状況については、必要に応じて記入すること。